

「ことば」にまつわる “プロ”のおなはし



NEWS LETTER 遊文通信

2016年6月発行

61

遊文舎では、書籍制作にあたっては、必ず組版オペレーターとともに、営業推進課の校正メンバーが関わり、お客様への校正出しの前の内校をおこなっています。縁の下の力持ちといえる専門職の「文字」「ことば」へのこだわりを発信いたします。

読む？ 読まない？

校正者は毎日、文字を見ない日はない、と言っても過言ではない。では、文章を読むのか？ 当然、どんな内容の文章なのかを初めに頭に入れておくことは必要である。さらに、その案件、クライアントの要望にもよるが、私の場合、まず読まない。勿論、きちんと読む校正者もいる。なぜ読まないのか？ 「見続ける」のである。この方法が自身には合っているのだ。邪道であろうが、長年、校正をしてきて色々試した結果である。初めの1ページを10分ぐらいかけて見続けていることもある。そのとき、体裁、ポイントになると思われるキーワードなど、出来る限り、頭に焼きつける。文字として見ているのではなく形として見ている。

そう1枚の写真のように…。記憶を山積していく。

速読？ いえ、視読

速読といえば、すぐに思い起こされるのは司馬遼太郎氏であろうか。生前、大阪の古本屋に通っていた元上司は必ず店主と話しながら本をペラペラめくって物色している司馬氏を見た。後に司馬氏と話した仲間になった彼によると、物色していたのではなく話しながらペラペラと本をめくり、内容も理解した上に誤字まで見つけていたそう。5分で文庫本一冊は軽く。司馬氏に限っては特殊能力であろうが、やはり文字を追うのではなく、瞬時に右脳を働かせ次々と転写していき映像として記憶を重ねると同時にポイントを整理していく。まるでカメラのシャッターを切り続けるかのように。

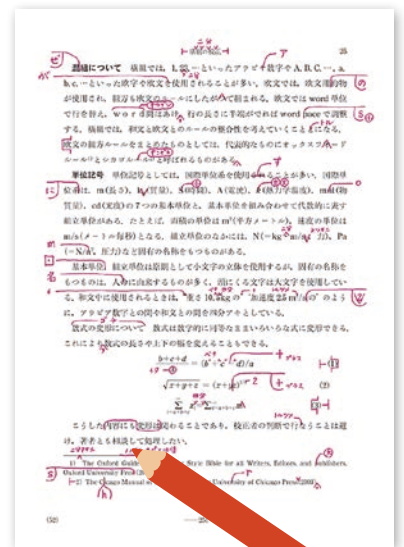
私にはそんな能力はないので、ひたすら文字を見続ける毎日が続くのだが…。

気づくか？ 1ミリのズレに

机の上に校正ゲラの束…。さて、ここからはスピード勝負。一通り眺めた後、一気に進める。波に乗ればコッチのもの…。著者はご自身の書かれた文章をじっくりと読まれるのは当然でしょう。だから校正者は朱書きも勿論見るが、その他の部分、柱、ノンブル、字下げ、文字ズレなどに注力する。昔、上司から「またボートしてるのか！」とよく声をかけられた。それから5年…。「1

ミリのズレに気づけば全てが見えるようになるよ、大丈夫。ただ、手は抜くなよ」と、微かな笑みと励ましをもらうことができるようになった。

基本は校正だが、場合によっては推敲作業を求められることもある。その場合は文章をじっくり読み直して、おかしな所をチェックし、修正していくのは勿論のこと。かくて、著者と一緒に成長していけるよう、文字やことばと奮闘している日々。



「ことば」が色づき映画になった

同じことばでも、前後の文章によって異なる意味あいを持つことになる。校正者にとって、そこを認識できるかどうかは、重要なエスプリになる。そのあたりの機微を、最近見た映画『海よりもまだ深く』のなかで、感じる事ができた。ことばを観る映画として、耳に響くものがあった。

大俳優・樹木希林のインタビューをご紹介します。

—「それでも楽しくね、毎日を」というセリフと「それでも毎日を楽しくね」というセリフが全く違うシチュエーションで使われてる。こういう微妙にニュアンスの違う「ことば」があちらこちらに散りばめられてるから適当なアドリブ演技ができないのよ、全て計算されてるから、ね」(笑)。

夢見た未来と違う今を生きる 元家族の物語。

元家族が教えてくれたものは……

海よりもまだ深い 人生の愛し方。

興味がある方は、ぜひご覧あれ。

(営業推進 檸檬爆弾)

スタッフ趣味の釣り

～坂根チーム・和田チーム編

定番企画?となりつつある遊文スタッフ趣味のご紹介。今とても熱いのがフィッシング! 海川湖なんでもござれの猛者たちの釣り戦記をご笑覧ください。
(ヒーロー)

ルアー釣り40日グループ

Q1. 釣りメンバーの紹介をお願いします。



タケノコメバル
(南芦屋浜)

製版デジタル課 土肥
営業推進課 大西
印刷課 服部
企画営業部 坂根

Q2. 釣り歴はどれくらいですか?

中学校からやってますので40年くらいです。

Q3. 年間で何日くらい釣りにいきますか?

40日くらい行きます。

Q4. 最近釣れた種類を教えてください。



ブラックバス
(淡路島野池)

淡路島でブラックバスです。

Q5. 自慢をしてください。

写真をご覧ください。

Q6. 釣りの楽しみ方を教えてください。

基本はルアー釣りなのでエサ釣りはしません。
季節、天候、場所、水温、
人的プレッシャーなどを考え、
最適なルアーをセレクトして釣ること。
釣れたのではなく、釣ったと言いたいです。

Q7. 今後の目標を教えてください。

ずっと釣りを続けることです。

(企画営業部 坂根隆志)



チヌ (淀川)



アジ・ガシラ (泉佐野市)

VS

Q1. 釣りメンバーの紹介をお願いします。

印刷課 児島・林
製本課 柴田・和田 (ゲスト 土肥・時々苗村)

Q2. 釣り歴はどれくらいですか?

5年くらいです。

Q3. 年間で何日くらい釣りにいきますか?

30日くらいです。

Q4. 最近釣れた種類を教えてください。

イカ・真鯛・ベラ・フグ・クマノミ・
キス・太刀魚・アジ・スズメダイ (小)。

Q5. 自慢をしてください。

全員がほぼ初心者なので、
何が釣れてもみんな喜んでます。

Q6. 釣りの楽しみ方を教えてください。

- ・自然と触れあい、色々な景色に出会えること。
- ・みんなで和気あいあいといっぱい喋れること。

Q7. 今後の目標を教えてください。

- ・初心者 児島: 太刀魚を釣る
- ・中堅 柴田: とりあえず何か釣る
- ・ベテラン 林: 何か大物を釣る
- ・ゴット 和田: みんなのテンションを上げること。
すべらないこと

(製本課・和田直樹)



中堅柴田の後姿



苗村部長のおごりでいかだ釣り



ゴット和田自慢魚拓

エサ釣り30日グループ

● 編集後記 ●

梅雨の時期に入りました。毎日雨が降り続くと洗濯物が外に干せず、室内干しで狭い部屋がさらに狭くなってしまいます。本社の印刷現場でも、紙を外に置いてある場合が多いので、雨が降ってくるとせせせと紙の移動をしています。降雨は貴重ですが、一人暮らしを始めてさらに雨のありがたみを実感できなくなりました(笑)
(ばっしー)